

たいにいい・ぼっくすつうしん

Vol. 76

令和3年
7月15日

共に生きる社会の、これから

梅雨入り前は水不足を心配していましたが、どうやら鳥越苦勞ですみそうです。梅雨明けに迎える夏休みの期待を、子どもたちは口々に言います。

津久井やまゆり園事件を受けて「ともに生きる社会かながわ憲章」は挙げられました。憲章をつくるにあたり意見を一般公募すると県から通達がありましたが、それから一週間も経たずに立てられ、建前だけの憲章になっていないか不安を抱いたことを覚えています。先日、NHKの番組で、障がいを抱えた方たちが「“ともに歩く”ではないか」と議論している場面があり、憲章のテーマはまだ出発地点で、もっと多くの人で議論しなければならないことを知らしめていました。「共に生きる」こととは、この世に生を授かるすべての人と共に生ることと承知していても、顔を知らない人と呼吸を感じる身近な人とでは、共に生きようとする意思は比較にならないほど後者が強くなってしまいます。子どもたちと過ごす時間は、手を繋ぎ合えば手を引いているようで時に手を引かれ、共に生きているとリアルに感じるのです。

8月、津久井やまゆり園が新しい園舎になり利用者を迎えます。「共に生きる」とはどういうことか、相模原市の地から全国に強いメッセージを発信していかなければならないと、想いを強くさせられます。たくさんの呼吸を感じとるため、こちらから歩み寄り、共に生きたいと願います。

たいにいい
のようす

写真掲載欄のため、内容を削除しております

ともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、
いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

8月の予定
夏季長期休暇計画参照

8月 休業日

1日
7日 8日 9日
14日 15日
21日 22日
21日 22日
28日 29日

